

# 市の財政状況

29年度の歳入歳出の差引額は約3.5億円  
市債は約58.6億円増加し、基金は約2.2億円増加  
お金の使い道と財産・負債の状況などをお知らせします

## 歳入の内容

区分	主な内容
市税	市民が納める税金
市債	国や金融機関から借り入れるもの
国庫支出金	国が用途を限定して交付するもの
地方交付税	国が自治体間の税源均衡を調整するため交付するもの
県支出金	県が用途を限定して交付するもの
地方消費税交付金	消費税の一部が交付されるもの
使用料及び手数料	公共施設の利用料金や発行手数料など

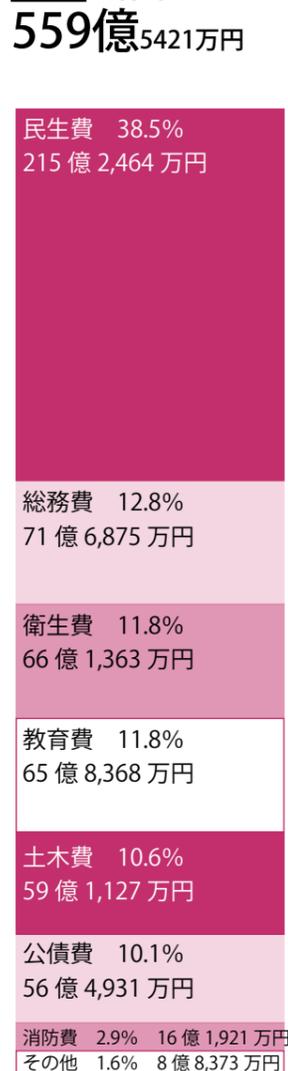
## 市税収入の推移 (表2)



## 一般会計歳入 (表1)



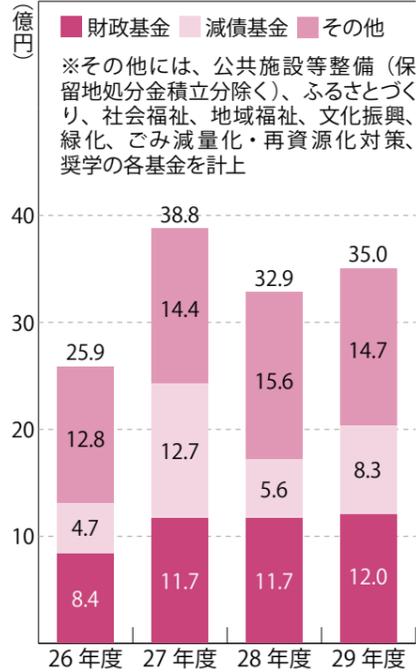
## 一般会計歳出 (表3)



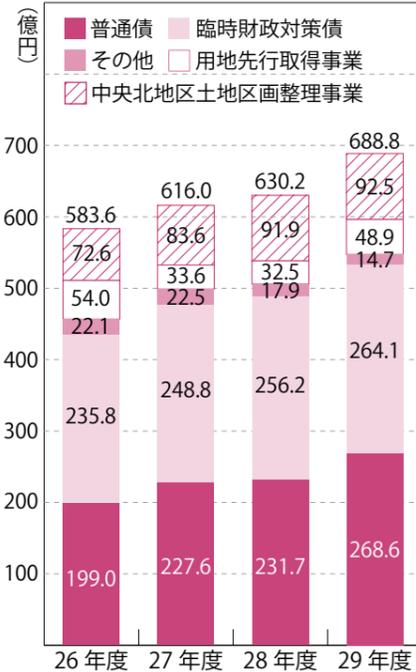
市民1人当たり  
市債残高は約 **43.5万円**  
基金残高は約 **2.2万円**

30年3月31日時点の人口 (15万8,515人) を基に算出

## 基金残高の推移 (表6)



## 市債残高の状況 (表5)



## 一般会計と特別会計

### 歳入歳出の決算状況 (表4)

会計別	区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入・歳出差引額
一般会計		563億 736万	559億5,421万	※3億5,315万
	国民健康保険事業	198億 72万	196億5,231万	1億4,841万
特別会計	後期高齢者医療事業	30億8,548万	29億9,920万	8,628万
	農業共済事業	611万	611万	0
	介護保険事業	123億9,873万	120億9,189万	3億 683万
	用地先行取得事業	40億6,909万	40億6,903万	※6万
	中央北地区土地区画整理事業	30億6,928万	29億2,246万	※1億4,682万

端数処理のため、各項目の差引額の数値が一致しない場合があります  
※30年度に繰り越す事業に充てるための財源が含まれます

#### ホームページや市役所で公開

詳しい決算の内容をまとめた「歳入歳出決算書」と、決算の分析をまとめた「決算成果報告書」は、市ホームページ(2次元コードからアクセス可)と市役所2階の市政情報コーナー、市立図書館で公開



**効率化と事業見直しで歳出を抑制**  
今後、市税収入などの歳入が減少する一方で、歳出では扶助費(児童・障害福祉などにかかる費用)や医療介護にかかる費用の増加傾向が続くと見込まれます。このままでは将来的に歳入

が不足する恐れがあるとともに、不足を補填するための基金残高も十分とはいえないため、事務の効率化や事業見直しなど、歳出の抑制を徹底しなければなりません。「持続可能なまちづくり」の実現をめざし、行政運営の徹底した見直しを図っていきます。

**施設整備を充実 今後の税収減少が懸念**  
一般会計の歳入は約563億円で、昨年から約42億円増加しました(表1)。主な理由として、地方交付税や地方消費税交付金の増加、キセラ川西プラザ整備事業や小・中学校、幼稚園などの空調設備整備に充てる国庫支出金や市債の増加などがあります。市税収入はここ数年ほぼ横ばいですが、高齢化の影響による所得の減少や、地価の下

市の借金に当たる市債残高は、一般会計と特別会計を合わせて、約688.8億円となり、58.6億円増加。長期にわたり市民が利用する、公共施設や道路の整備に充てられました(表5)。市の貯金に当たる基金残高は約35億円となり、2.2億円増加。収入不足や災害時に備えて積み立てる財政基金の増加は、約0.4億円となりました(表6)。

## 将来を見通した歳出の見直しが鍵

問い合わせ  
財政課 ☎(740)1130

落などにより今後は減少すると見込んでいます(表2)。一般会計の歳出は約560億円で、昨年から約43億円増加しました(表3)。主な理由として、「民生費」で幼稚園と保育所を一体化した市立認定こども園の整備、「総務費」でキセラ川西プラザ整備、「教育費」で小・中学校、幼稚園などの空調設備整備などがあります。

**もしもに備える基金 0.4億円を積み立て**  
市の借金に当たる市債残高は、一般会計と特別会計を合わせて、約688.8億円となり、58.6億円増加。長期にわたり市民が利用する、公共施設や道路の整備に充てられました(表5)。市の貯金に当たる基金残高は約35億円となり、2.2億円増加。収入不足や災害時に備えて積み立てる財政基金の増加は、約0.4億円となりました(表6)。